

[PRESS RELEASE]

2006年9月12日
東京大学医学部附属病院
健診情報学講座

企業における健康づくり推進シンポジウム 2006 開催

～ 2006 医療制度改革により、40 歳以上社員・家族への予防が義務化されます～

東京大学医学部附属病院（以下、東大病院）^{*1} 健診情報学講座では、2006年9月15日（金）に「企業における健康づくり推進シンポジウム 2006」を開催いたします。

本シンポジウムでは、2006年の医療制度改革により40歳以上の社員・家族への生活習慣病の予防が医療保険者（健康保険組合など）に義務化されたことを周知し、予防が社員・家族と企業にとってどのような意義があるのか、今後、企業は健保組合と共にいかに予防に取り組みれば良いのかなどを提言することを目的としています。

【背景】

近年の生活様式の変化や高齢化などに伴い、生活習慣病が増加しており、国民の健康増進・病気の予防や医療費負担の軽減が課題となっています。このような背景のもと、国民的な健康づくりを推進する観点から、本年6月に行われた医療制度改革の中で、予防が保険者に義務化されました。このような状況において、予防医学の研究を進めている東大病院 健診情報学講座として、企業や健保組合へ予防の推進策などを提言する場を設けるといたしました。

【研究の発端と進展】

2004年に東大病院における産学連携のスキームである「22世紀医療センター」を立ち上げ、その中で予防医学の研究や事業に取り組む拠点として健診情報学講座を整備いたしました。健診情報学講座では、近年の生活習慣病の増加などに対して、予防医学の研究事業に取り組んでおり、厚生労働科学研究における予防制度のあり方に関する研究をはじめ、医療保険者や企業との連携に基づくモデル的な研究を行っています。また、外部の予防機関との連携に基づき、100以上の企業の健保組合において生活習慣病の予防を保健事業として行うためのソリューションの研究開発やプログラムの提供支援を進めています。現在行

っている研究は、国民及び企業の意識啓発をはじめ、健診・問診の普及、健康データに基づく適切な予防教育の推進に少しずつつながり始めており、結果として予防の取り組み(保健事業)の標準化と質の向上につながると考えられます。本シンポジウムも、このような予防を推進する取り組みの一環として行うものです。

【シンポジウム】

日 時： 平成 18 年 9 月 15 日 (金) 13:00 ~ 15:00

会 場： 東京大学 安田講堂 (東京都文京区本郷 7-3-1)

次 第：

(敬称略)

13:00 開 会

「ご挨拶」

東京大学医学部附属病院長 永井 良三

13:10 特別講演

「生活習慣病予防の義務化～2006 法改正に基づき」

厚生労働省健康局生活習慣病対策室 山本 英紀

13:40 基調談話

「健康づくりに取り組む企業こそが優良企業～健康ムーブメントづくりに向けて」

日本経済団体連合会

13:50 パネルディスカッション

「企業・産業医と健保組合との連携に基づく生活習慣病予防」

産業医科大学副学長 森 晃爾

「健診の標準化に向けて」

東京大学医学部附属病院健診情報学講座 奥 真也

「職域での先進的な生活習慣病の予防教育」

東京大学医学部附属病院健診情報学講座 古井 祐司

15:00 閉会

* なお、シンポジウムの内容・講師などは都合により、一部変更する場合がございます。

【今後の展望】

- ・ 効果のある予防プログラムの研究・開発の進展
- ・ 企業や健保組合への予防の重要性の周知徹底
- ・ 企業や健保組合を通じた社員・家族への予防の取り組みの推進
- ・ 予防医療におけるデータ(エビデンス)の集積に基づく科学的分析の推進

【参照 URL】

東大病院 22 世紀医療センター健診情報学講座

<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/kenshin/symposium.htm>

【注釈】

(* 1) 東京大学医学部附属病院 病院長 永井良三

所在地 東京都文京区本郷 7-3-1 <http://www.h.u-tokyo.ac.jp/>

《取材に関するお問合せ先》

東京大学医学部附属病院 広報企画部 (担当 : 七海)

電話 : 03-5800-9188 (直通) E-mail : pr@adm.h.u-tokyo.ac.jp

《本件に関するお問合せ先》

東京大学医学部附属病院 健診情報学講座 (担当 : 小川)

電話 : 03-5684-2200 (直通) E-mail : kenshin@m.u-tokyo.ac.jp
